

第50期貸借対照表

〔平成21年3月31日現在〕

(単位：百万円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|----------------|---------------|------------------------|---------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 流 動 資 産 | 50,549 | 流 動 負 債 | 23,790 |
| 現金・預金 | 560 | 短期借入金 | 12,000 |
| 金銭の信託 | 34,551 | 未払金 | 5,750 |
| 有価証券 | 3,400 | 未払収益分配金 | 5 |
| 短期貸付金 | 592 | 未払償還金 | 82 |
| 未収委託者報酬 | 7,489 | 未払手数料 | 3,275 |
| 未収収益 | 1,629 | その他未払金 | 2,387 |
| 未収法人税等 | 498 | 未払費用 | 4,849 |
| 繰延税金資産 | 879 | 未払法人税等 | 4 |
| その他 | 952 | 賞与引当金 | 1,080 |
| 貸倒引当金 | △4 | その他 | 106 |
| 固 定 資 産 | 43,110 | 固 定 負 債 | 5,724 |
| 有形固定資産 | 2,183 | 退職給付引当金 | 4,620 |
| 建物 | 710 | 時効後支払損引当金 | 462 |
| 器具備品 | 1,472 | その他 | 642 |
| 無形固定資産 | 12,407 | 負 債 合 計 | 29,515 |
| ソフトウェア | 12,403 | 純 資 産 の 部 | |
| 電話加入権 | 2 | 科 目 | 金 額 |
| その他 | 1 | 株 主 資 本 | 61,810 |
| 投資その他の資産 | 28,519 | 資本金 | 17,180 |
| 投資有価証券 | 10,693 | 資本剰余金 | 11,729 |
| 関係会社株式 | 15,743 | 資本準備金 | 11,729 |
| 長期貸付金 | 385 | 利 益 剰 余 金 | 32,900 |
| 長期差入保証金 | 39 | 利益準備金 | 685 |
| 長期前払費用 | 19 | その他利益剰余金 | 32,215 |
| 繰延税金資産 | 1,256 | 別途積立金 | 24,606 |
| その他 | 381 | 繰越利益剰余金 | 7,608 |
| 貸倒引当金 | △0 | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | 2,333 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 2,084 |
| | | 繰延ヘッジ損益 | 249 |
| 資 産 合 計 | 93,659 | 純 資 産 合 計 | 64,143 |
| | | 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | 93,659 |

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第50期損益計算書

自 平成20年4月1日

至 平成21年3月31日

(単位：百万円)

| 科 目 | 内 訳 | 金 額 |
|------------------------|--------|---------------|
| 営 業 収 益 | | 92,537 |
| 委託者報酬 | 84,195 | |
| 運用受託報酬 | 8,315 | |
| その他営業収益 | 27 | |
| 営 業 費 用 | | 65,272 |
| 支払手数料 | 39,122 | |
| その他営業費用 | 26,150 | |
| 一 般 管 理 費 | | 22,452 |
| 営 業 利 益 | | 4,812 |
| 営 業 外 収 益 | | 9,322 |
| 受取配当金 | 8,013 | |
| その他営業外収益 | 1,308 | |
| 営 業 外 費 用 | | 1,671 |
| 経 常 利 益 | | 12,463 |
| 特 別 利 益 | | 1,387 |
| 投資有価証券売却益 | 1,085 | |
| 株式報酬受入益 | 299 | |
| リース資産買取差益 | 2 | |
| 特 別 損 失 | | 2,001 |
| 投資有価証券売却損 | 1,471 | |
| 投資有価証券等評価損 | 5 | |
| 固定資産除却損 | 405 | |
| 退職給付制度移行損失 | 118 | |
| 税 引 前 当 期 純 利 益 | | 11,849 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 2,893 |
| 法人税等調整額 | | 2,334 |
| 当 期 純 利 益 | | 6,621 |

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第 50 期 株主資本等変動計算書

(自 平成 20 年 4 月 1 日
至 平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | | | | 株 主 資 本 計 |
|-----------------------------|--------|--------------|---------------------|--------------|--------------|---------------------|---------------------|-----------------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利 益 準 備 金 | 利益剰余金 | | 利 益 剰 余 金 合 計 | |
| | | 資 本 準 備 金 | 資 本 剰 余 金 合 計 | | その他利益剰余金 | | | |
| | | | | | 別 途 積 立 金 | 繰 越 利 益 剰 余 金 | | |
| 平成 20 年 3 月 31 日 残高 | 17,180 | 11,729 | 11,729 | 685 | 35,606 | 16,512 | 52,804 | 81,714 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 別途積立金の取崩 | | | | | △11,000 | 11,000 | — | — |
| 剰余金の配当 | | | | | | △26,526 | △26,526 | △26,526 |
| 当期純利益 | | | | | | 6,621 | 6,621 | 6,621 |
| 株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額) | | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | △11,000 | △8,904 | △19,904 | △19,904 |
| 平成 21 年 3 月 31 日 残高 | 17,180 | 11,729 | 11,729 | 685 | 24,606 | 7,608 | 32,900 | 61,810 |

(単位：百万円)

| | 評価・換算差額等 | | | 純資産合計 |
|-----------------------------|------------------|--------------|----------------|---------|
| | その他有価証 券評価差額金 | 繰延ヘッジ 損 益 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 平成 20 年 3 月 31 日 残高 | 5,124 | △250 | 4,874 | 86,589 |
| 当期変動額 | | | | |
| 別途積立金の取崩 | | | | — |
| 剰余金の配当 | | | | △26,526 |
| 当期純利益 | | | | 6,621 |
| 株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額) | △3,040 | 499 | △2,541 | △2,541 |
| 当期変動額合計 | △3,040 | 499 | △2,541 | △22,445 |
| 平成 21 年 3 月 31 日 残高 | 2,084 | 249 | 2,333 | 64,143 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

当社の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書は、「会社計算規則」（平成 18 年 2 月 7 日法務省令第 13 号）ならびに、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成 19 年 8 月 6 日内閣府令第 52 号）により作成しております。

[重要な会計方針に係る事項に関する注記]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

時価のないもの

移動平均法による原価法

2. デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法

3. 運用目的の金銭の信託の評価基準及び評価方法

時価法

4. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（附属設備を除く）については、定額法を採用しております。
(リース資産を除く)

(2) 無形固定資産 定額法を採用しております。ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間に基づく定額法によっております。
及び投資その他の資産

他の資産

(リース資産を除く)

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

5. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

賞与の支払いに備えるため、支払見込額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企业年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

確定給付型企业年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理

することとしております。

退職一時金及び確定給付型企業年金に係る過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。

[追加情報]

(退職給付制度の改訂)

当社は、平成20年12月31日付で退職一時金制度から確定拠出金制度への移行を目的とした退職一時金制度の一部廃止ならびに平成21年1月1日付で適格退職年金制度から確定給付型企業年金制度への移行を目的とした退職一時金・年金制度の改訂を行いました。当社は、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。本改廃に伴う影響として、特別損失118百万円を計上しております。

(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

6. リース取引の処理方法

リース取引開始日が平成20年4月1日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

7. ヘッジ会計の方法

(1) ヘッジ会計の方法

ヘッジ会計は、原則として、時価評価されているヘッジ手段に係る損益を、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで純資産の部において繰り延べる方法によっております。

(2) ヘッジ手段とヘッジ対象

| | |
|-------|-------------|
| ヘッジ手段 | 為替予約、株価指数先物 |
| ヘッジ対象 | 投資有価証券 |

(3) ヘッジ方針

投資有価証券に係る為替変動リスク及び価格変動リスクをヘッジしております。

(4) ヘッジ有効性評価の方法

為替変動リスク及び価格変動リスクのヘッジにつきましては、そのリスク減殺効果を、対応するヘッジ手段ならびにヘッジ対象ごとに定期的に把握し、ヘッジの有効性を確かめております。

8. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

9. 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

10. 会計方針の変更

(リース取引の処理方法)

当事業年度より、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」(平成19年3月30日 企業会計基準委員会)及び企業会計基準適用指針第16号「リース取引に関する会計基準の適用指針」(平成19年3月30日 企業会計基準委員会)を適用しております。

この適用により、リース取引開始日が平成20年4月1日以降の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買処理に係る方法に準じた会計処理を行い、リース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、企業会計基準適用指針第16号「リース取引に関する会計基準の適用指針」(平成19年3月30日 企業会計基準委員会)第79項により、リース取引開始日が平成20年4月1日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

なお、これによる財政状態に与える影響はなく、損益に与える影響は軽微であります。

[貸借対照表に関する注記]

| | |
|-----------------------|------------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 1,260 百万円 |
| 2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務 | |
| 短期金銭債権 | 178 百万円 |
| 短期金銭債務 | 14,707 百万円 |

[損益計算書に関する注記]

関係会社との取引高

| | |
|------------------|------------|
| 営業収益 | 1,262 百万円 |
| 営業費用及び一般管理費 | 11,013 百万円 |
| 営業収益以外の収益 | 8,001 百万円 |
| 営業費用及び一般管理費以外の費用 | 175 百万円 |
| 資産購入高 | 6,480 百万円 |

[株主資本等変動計算書に関する注記]

1. 当事業年度の末日における発行済株式の数

| 株式の種類 | 前事業年度末 | 当期増加株式数 | 当期減少株式数 | 当事業年度末 |
|-------|-------------|---------|---------|-------------|
| 普通株式 | 5,150,693 株 | - | - | 5,150,693 株 |

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成 20 年 5 月 28 日の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 26,526 百万円

1 株当たり配当額 5,150 円

基準日 平成 20 年 3 月 31 日

効力発生日 平成 20 年 6 月 2 日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

平成 21 年 5 月 28 日の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 3,605 百万円

1 株当たり配当額 700 円

基準日 平成 21 年 3 月 31 日

効力発生日 平成 21 年 6 月 1 日

[税効果会計に関する注記]

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

| | |
|--------------|--------|
| 繰延税金資産 | 百万円 |
| 退職給付引当金 | 1,894 |
| 所有株式税務簿価通算差異 | 884 |
| 投資有価証券評価減 | 616 |
| ゴルフ会員権評価減 | 510 |
| 賞与引当金 | 442 |
| 未払確定拠出年金掛金 | 328 |
| タックスヘイブン税制 | 271 |
| 減価償却超過額 | 262 |
| 子会社株式売却損 | 196 |
| 時効後支払損引当金 | 189 |
| その他 | 85 |
| 繰延税金資産小計 | 5,682 |
| 評価性引当金 | △1,924 |
| 繰延税金資産計 | 3,757 |
| 繰延税金負債 | |
| 繰延ヘッジ利益 | 173 |
| 有価証券評価差額金 | 1,448 |
| 繰延税金負債計 | 1,621 |
| 繰延税金資産(純額) | 2,136 |

[リースにより使用する固定資産に関する注記]

1. 事業年度の末日における取得原価相当額 1,343 百万円
2. 事業年度の末日における減価償却累計額相当額 980 百万円
3. 事業年度の末日における未経過リース料相当額 375 百万円
4. リース契約により使用する固定資産の明細

| 資産の種類 | 資産の内容 |
|-------|---------------------|
| 器具備品 | サーバー、クライアントパソコン、什器等 |

[関連当事者との取引に関する注記]

1. 親会社及び法人主要株主等

| 属性 | 会社等の名称 | 住所 | 資本金 (百万円) | 事業の内容 又は職業 | 議決権等 の所有 (被所有)割合 | 関係内容 | | 取引の内容 | 取引 金額 (百万円) | 科目 | 期末 残高 (百万円) |
|-----|----------------|--------|--------------|---------------|------------------------|------------|---------|---------------|-------------------|-------|-------------------|
| | | | | | | 役員の 兼任等 | 事業上の関係 | | | | |
| 親会社 | 野村ホールディングス株式会社 | 東京都中央区 | 321,764 | 持株会社 | (被所有) 直接 100% | 兼任 3人 | 資産の賃貸借等 | 資金の借入 (*1) | 228,500 | 短期借入金 | 12,000 |
| | | | | | | | | 資金の返済 | 216,500 | | |
| | | | | | | | | 借入金利息の支払 | 168 | 未払費用 | 1 |

2. 子会社等

| 属性 | 会社等の名称 | 住所 | 資本金 (百万円) | 事業の内容 又は職業 | 議決権等 の所有 (被所有)割合 | 関係内容 | | 取引の内容 | 取引 金額 (百万円) | 科目 | 期末 残高 (百万円) |
|------|-------------|---------|--------------|---------------|------------------------|------------|------------|-----------------------|-------------------|------|-------------------|
| | | | | | | 役員の 兼任等 | 事業上の関係 | | | | |
| 関連会社 | 株式会社野村総合研究所 | 東京都千代田区 | 18,600 | 情報サービス業 | (所有) 直接 22.3% | なし | サービス・製品の購入 | 自社利用ソフトウェア開発の委託等 (*2) | 10,001 | 未払費用 | 79 |

3. 兄弟会社等

| 属性 | 会社等の名称 | 住所 | 資本金 (百万円) | 事業の内容 又は職業 | 議決権等 の所有 (被所有)割合 | 関係内容 | | 取引の内容 | 取引 金額 (百万円) | 科目 | 期末 残高 (百万円) |
|---------|----------------------------|---------|--------------|---------------|------------------------|------------|--|-------------------------|-------------------|-------|-------------------|
| | | | | | | 役員の 兼任等 | 事業上の関係 | | | | |
| 親会社の子会社 | 野村証券株式会社 | 東京都中央区 | 10,000 | 証券業 | — | 兼任 1人 | 当社投資信託の募集の取扱及び売上の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 | 投資信託に係る事務代行手数料の支払 (*3) | 28,694 | 未払手数料 | 2,628 |
| 親会社の子会社 | 野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社 | 東京都千代田区 | 400 | 投資顧問業 | — | 兼任 1人 | 当社投資信託の運用委託 | 投資信託の運用に係る投資顧問料の支払 (*4) | 4,926 | 未払費用 | 1,064 |

4. 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

(*2) ソフトウェア開発については、調査・研究に要する費用や開発工数等を勘案し、総合的に決定しております。

(*3) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

(*4) 投資信託の運用に係る投資顧問料については、一般取引条件と同様に決定しております。

[1株当たり情報に関する注記]

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 12,453円43銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 1,285円61銭 |